

「今月の主な紙面」

- 2 地協医療活動交流集会、わんこにゃんこ、学運交・写真コンテスト・いきいきキャンペーンお知らせ
- 3 医学生フィールドワーク、お気に入り
- 4 愛知の兵器産業、パズル、ひろば



愛知県民主医療機関連合会

〒456-0006 名古屋市中区熱田区沢下町9番3号
 ☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112
 発行責任者 武田 修三
 URL : https://www.aichiminiren.jp/
 E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp

第472号

この秋、「大軍拡でなく、ケアを。戦争させない、いのちを守る大運動」を

「保険証なくさないで」大運動

75歳以上医療費の窓口負担2割の中止

国保・介護保険の改善運動



名南会・はみんぐの合同スタンディング

この秋の自治体キャラバンでは、自治体から国へ現行の保険証存続を求める意見書採択を要請していきます。法人の院所・事業所のある自治体の懇談へ参加

「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ！10・19いのちまもる総行動」が10月



尾張健友会の病院前署名行動

☆9月13日わかばブロックでスマホ講座を開催。今回はLINEの使い方。

☆9月17日ワイワイルームでこどもまつりを開催。輪投げや射的、縁日すくいなど、子どもたちで賑わいました。

☆9月30日小幡緑地西園で「作ってあそぼうスライムと超能力カード」を開催。

①「保険証をなくさないで」の大運動
 健康保険証の廃止は、国民皆保険制度を根幹から破壊する大改悪です。健康保険証をすべての国民に交付させる運動を強め、マイナンバー法撤回を必ず実現させましょう。

②75歳以上医療費の窓口2割負担をやめさせる
 昨年10月から、75歳以上で年収200万円以上の高齢者医療費加入者の約20%は医療費窓口負担が2割となりました。

③名古屋の国保と介護保険の改善を求める署名の推進
 国民健康保険の保険料は、同じ世帯構成・同じ所得であっても協会けんぽの1.5〜2倍と高額です。名古屋市国保では2023年度の1人あたり保険料は10万円を超す大変にきびしい水準であり、保険料の引き下げや減免制度の拡充が必要です。

④秋のとりくみの強化点
 大軍拡のもとでは命も暮らしも守りません。大軍拡阻止・9条改悪阻止と医療・介護、社会保障の充実を一体にとりくみましょう。

⑤南
 「よりあい1000回社会福祉法人・特別養護老人ホーム開設まちづくり懇談会」(通称…より1000)をスタート。ひとり一人の多世代・高齢期の幸せなくらしまちづくりにむけて、地域市民の声と力を結集していきます。

⑥北
 ☆9月13日わかばブロックでスマホ講座を開催。今回はLINEの使い方。

⑦はみんぐ
 ☆9月より職場づくり応援で元気の出る情報の本部日報を発行しています。診療で気になった患者さんへのアウトリーチ行動やチーム連携、研修会や会議の参加報告等を発信します。

⑧尾張
 ☆9月19日に若手職員による事務委員会主催で社会保険の勉強会を行い約20名が参加。自分たちの負担している保険料から社会保障の仕組み、税金が社会保障ではなく軍事費に使われていることを学びました。

秋・年末の社保・平和のとりくみ
 6月21日に閉会した第211国会では、岸田政権は戦争する国づくりに向けて大軍拡と国民負担増、いのちと人権を踏みしめる憲法違反の大暴走、大改悪を押し通しました。民医連はこの秋・年末、「大軍拡でなく、ケアを。戦争させない、いのちを守る大運動」の運動の推進を呼びかけています。



5月のドクターナース介護ウェーブ

秋には臨時国会も開かれます。2024年の診療報酬・介護報酬の大幅引き上げ改定を求め、国会議員への働きかけや政府への要請にとりくみます。また、11月11日には、ドクターナース・介護ウェーブをとりくみ、医師不足の解消、看護師はじめ医療・介護従事者の増員や処遇改善、医療提供体制拡充を訴えていきます。積極的な参加をお願いします。

☆9月16日、社保委員会主催で在宅医療・介護を考える学習会を開催。宝生協診療所に加藤所長、みなと診療所の三浦所長、石田ケアマネジャーが報告。

☆9月27日、協立総合病院で教育学習月間記念講演会『医療生協10の基本ケア』を開催。職員・組合員計98人が学びました。

☆9月19日に若手職員による事務委員会主催で社会保険の勉強会を行い約20名が参加。自分たちの負担している保険料から社会保障の仕組み、税金が社会保障ではなく軍事費に使われていることを学びました。「戦争当事国になると安心して暮らせなくなる」との感想がありました。

☆9月19日に若手職員による事務委員会主催で社会保険の勉強会を行い約20名が参加。自分たちの負担している保険料から社会保障の仕組み、税金が社会保障ではなく軍事費に使われていることを学びました。



みなと

☆9月16日、社保委員会主催で在宅医療・介護を考える学習会を開催。宝生協診療所に加藤所長、みなと診療所の三浦所長、石田ケアマネジャーが報告。

尾張

☆9月19日に若手職員による事務委員会主催で社会保険の勉強会を行い約20名が参加。自分たちの負担している保険料から社会保障の仕組み、税金が社会保障ではなく軍事費に使われていることを学びました。

ファルマネット

☆在宅をはじめ、地域での医療・福祉の事業への貢献を評価される「地域連携薬局の指定について、わかば薬局かなめ店、内田橋店が相次いで申請が受理され、これで3店舗すべて地域連携薬局になりました。高齢者が安心して過ごせる地域づくりに一層貢献していきたいと話合っています。

第3回地協 医療活動交流集会

コロナ禍での 民医連の医療・介護活動から学び、 これからの医療・介護活動へ生かそう

県連医療活動委員
生協わかばの里 事務長 玉越 聡

第3回地協医療活動交流集会が9月2日、オンラインで開催されました。今回の記念講演は「コロナ禍での民医連の医療・介護活動と今後の方向」について、全日本民医連副会長・医療部長、まちづくり委員長根岸京田先生にご講演いただきました。

現代資本主義の危機と 新型コロナの爪あと

健康二次被害、 弱者への大きな被害

まず、コロナ以前はどんな社会であったか？ということからお話が始まりました。どこまでも利潤を追求し、大量生産、大量消費を続ける現代資本主義社会は必然的に富める者と貧しい者を生み出し、環境にも大きな負荷を課してきました。社会環境の劇的な変化が進むことにより、「疎外される危機」「少子化人口減少の進行」を招いているとお話し頂きました。



全日本民医連副会長
根岸京田先生

コロナ後の医療活動 への提案

コロナ後の医療については「医療・介護活動の2つの柱」を深化し、

「まちづくりに取り組む」として「地域になくはないユニークな存在になる」と提案がありました。面倒なことから逃げない、ハードル低く何かあったときには支援する。なにより親切であることが重要だと改めて再確認することができました。

受療権と職員・事業所 を守った民医連の活動

コロナ禍での全日本民医連の取り組みとしては、特に医療介護事業においては早期より受療権を守ることと職員のヘルスケア等によって職員・事業所を守る事を重視したこと。また、非常に重要であった診療情報共有、支援活動を実践してきたことが紹介されました。先生からは地域を守ることも取り組んできたことにも期待され、実は地域から期待され支えられていたとも述べられていました。様々な場面でそのように感じることがあり、とても共感しました。

「まちづくりに取り組む」として「地域になくはないユニークな存在になる」と提案がありました。面倒なことから逃げない、ハードル低く何かあったときには支援する。なにより親切であることが重要だと改めて再確認することができました。

エネルギーあふれる 各県連からの指定報告

第二部では各県連からの指定報告がありました。愛知からは協立総合病院の神谷理学療法士の発表がありました。新型コロナウイルス病棟でのリハビリテーション介入についての現状と今後の課題について報告されました。活動量低下などの隔離環境、口腔内汚染などの機能的因子により食事摂取困難に至るケースがあり、発症早期から全身状態の管理に加えて嚥下機能への介入が重要だとお話しされました。

根岸先生からはコロナ禍 における民医連の活動につ いて、わかりやすくまとめ てお話ししていただきました。

各県連からの報告は困難な状況の中でも、立ち止まることなく進み続けるエネルギーを感じることができました。学ぶべきものがたくさんあった交流集会となりました。

第53回 学術運動交流集会のご案内

■2023年11月23日(祝・木)

9時30分受付開始
午前10時～午後3時30分

■オンライン開催

演題発表者・共同研究者は、原則労働会館に集合です
名古屋市熱田区沢下町9-3
県連事務局のあるビル



記念講演 山極寿一氏

(午前)
記念講演
「人類学者から医療介護関係者に考えてほしいこと」
山極 寿一氏(総合地球環境学研究所所長)

(午後) 分科会 & 特別分科会



我が家にはくうちちゃんという犬がいます。8年前に保護犬が産み、生後



くうちちゃん
オス・ミックス

北病院の玄関でおすわり して待っていてくれます

1ヶ月の時に里親となりました。小さな声でくうちと鳴いていたのでくうちちゃんです。顔の毛は定期的にカットしないと顔が隠れちゃいます。

私が北病院で働いているのを知っているのか夫がお散歩すると北病院の玄関まで行きおすわりして待っています。そんな姿を仕事仲間に見られることもしばしば(笑)。おとなしいので誰がお触りしても何もしないので出会ったら撫でてみて下さい。

北病院外来
看護師 村井 規子

愛知民医連新聞

第32回 新年号写真コンテスト

撮影機材は問いません。お気軽にご応募ください♪
スマホでも、コンパクトカメラでも、一眼レフでもOK!

テーマ 「私のベストショット」

応募資格 愛知民医連内の各法人職員(パート職員も可)

作品形式 1枚もの1点(組み写真不可)。

※カラー・白黒は問いません。

※プリント作品:サイズ不問です。ご郵送ください。

※データ応募:10MB以内。A4版普通紙・カラー印刷にて選考。

応募方法 以下の内容を添付しご応募ください(すべてお答えください)

- ①作品のタイトル、②所属法人、③職場名、④職種、⑤氏名(ふりがな)、⑥来年の当チラシに写真使用の可・不可、⑦郵送の場合は作品返却の要・否

◇郵送応募:〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-3

労働会館本館3階 愛知民医連・新年号写真コンテスト係

◇メール応募:aichiminiren@aichiminiren.jp

◇QRコードから応募(Googleアカウント使用)

締め切り 2023年11月26日(日)必着

入賞 図書カード進呈 金賞5千円、銀賞3千円、銅賞2千円、入選1千円



10月~11月末まで!

2023年度健康いきいきキャンペーン

全日本民医連厚生事業協同組合 愛知県支部・東海ブロック

★全日本民医連厚生事業協同組合の指定職員が参加対象です

★実施期間 2023年10月1日(日)~11月30日(木)

☆毎日の記録を「健康づくりDIARY」に記入して、きちんと提出しよう

終了後、2023年12月9日(土)までに各法人本部へ提出してください。

ダイアリー提出者には、白紙などとりくみのほとんどをなされなかった方を除き、提出者全員に東海ブロックより一人500円の図書カードを贈呈します。

☆目標達成者には、1,000円の商品券贈呈

目標達成者には、1,000円の商品券が愛知県支部より贈呈されます。

(複数エントリーで達成されても、商品券の贈呈は1人分です)

災害医療を学び、奨学生どうしのつながり深めた

医学生東日本大震災フィールドワークを宮城で開催

愛知民医連では、奨学生が横のつながりを作ることができるように対面企画を重視しています。9月16日(土)から17日の日程(1泊2日)で医学奨学生5名の参加で東日本大震災遺構(震災により崩壊した建物などを保存し、震災の記憶や教訓を次世代に伝えていく施設)などのフィールドワークを行い、現地の方々から「災害医療」について学びました。参加学生の感想もご紹介いたします。

災害医療の講義、被災者の方のお話しから学ぶ

一日目は宮城民医連坂総合病院の郷古医師から「災害医療」について講義を受けました。

マニユアルを作った終わりではなく、実際に災害を想定した訓練を行うことで修正を重ねていき、職員の中にもマニユアルの動きが頭に入っていたから有事の際もスムーズに動けたことを学び、準備の重要性



宮城民医連・坂総合病院の郷古医師から「災害医療」について学習

を学びました。講演後に復興公営住宅で住民の方のお話を伺い、震災の特例措置で低額で入居している方が、世帯収入が増えたおかげで、払えなくなると困っている事例や、震災直後に火力発電所が燃えたことによる被害があったにもかかわらず謝罪もなければ補償もほなかったという話を聞きました。

有事の時の行政の対応は大事なので、選挙に行き、この人なら任せられると思

える人に投票することも大切だと感じました。

大川小学校の津波避難対応にみる最悪事態想定の大切さ

二日目は、津波によって大勢の児童・教員がなくなった、石巻市の大川小学校の遺構にて現地の語り部(大川伝承の会)の方からお話を聞きました。

助けられたはずの命が事前の対策不足のせいで失われてしまったことから、大川小学校のように津波が来ない地域だと言われている



大川小学校児童の遺族から当時のお話しを聞く



復興公営住宅の方々からお話しを聞く



みやぎ東日本大震災津波伝承館を見学

も最悪の事態を考えた上で災害対策をしておかなければならないことを学びました。

教師らは地震が起きてから避難先を協議していたということや、学校側は非を認めなかったということを知り、強い憤りを感じました。判断ミスで多くの命を落とした現実の重さ、石巻市側との裁判が「生きる大川小学校津波裁判を闘った人たち」という映画にもなっていることを知りました。

現地の語り部の方が強い信念をもって話してくださったことに感動しました。夜の交流会や車の中でも意見交換をしましたが、時間が足りないくらいで奨学生の横のつながりを深めることができました。

愛知民医連事務局次長・医学士委員会担当 西崎 剛

参加学生の感想(一部)

■郷古医師の災害医療についての講演を聞いて

○震災前からマニユアルを

作成し、ブラッシュアップしていたというお話が印象に残った。これから起こり得る事を自分ごととして捉えて、行動に移す事の重要性と、難しさを感じた。

○マニユアルを作った終わりではなく、実際に災害を想定した訓練を行うことで修正を重ねていき、みんなの中にもマニユアルの動きが頭に入っていたから有事の際もスムーズに動けたのかなと思ひ、事前の対策がすごいと感じました。

■大川伝承の会の方のお話しを聞いて

○当時自分も小学年生だったので同級生くらいの子が津波に巻き込まれたり、助かって友人が亡くなる姿を目撃したりすること体験は耐えられるものではなく、また自分が生きているのは何においても当たり前ではなく、東北で生まれていたら、海外で生まれていたら今の状態では出来なかったのではないかと思ひました。

○一番印象に残った。状況を楽観視せずに自分で考えて行動することは大切だと感じた。辛いお話をたくさん伺い、自分でも結論が出ていないこともあるが何のお話を忘れずに、自分に人生の糧にしたいと感じた。

○お話を伺った大川伝承の会の方は自分の息子を震災で亡くし、思い出したくないような辛い経験をされたにもかかわらず、大川の被害を風化させないために語り部として色々なお話をしてくださったので、そのことに感謝し大川小学校で感じた気持ちを忘れないようにしたい。

■SGDを振り返って

○自分の思いを口に出すことで頭の中が整理され、他の人の考えを聞いて新たな視点にも気づかされた。

国が2013年に行った生活保護費の引き下げは違憲・違法として処分取り消しを求めた広島地裁訴訟は、10月2日、「減額は違法」として処分取り消しの判決が出されました。

「生活保護減額は違法」広島地裁判決

11月30日の名古屋高裁判決に追い風

11月30日に名古屋高裁判決。傍聴支援を！名古屋高裁判決が11月30日(木)午後3時に出されます。法廷を満杯にして原告勝訴をつかんでいきましょう。裁判の傍聴支援をお願いします。



子どもの弾くピアノ

我が家の子ども達はピアノを習っています。長男は4年、娘は2年が経ちました。毎日の練習にはわたしが付き添うのですが、教えるのは本当に大変です。家の前を通る人達には、きつと、ピアノの音色と共に、時々わたしの大声や子どもの泣き声(?)さえも聞こえていることでしょうか(笑)。

現在、小学2年生の長男はモーツァルトのソナタ(ドドミーンソンドレド)に挑戦中です。誰もが聞いたことのある有名なアノ曲です。年中の娘はクレメンティのソナチネを練習中です。

つい練習に追われてしましますが、毎日少しずつ上達していくピアノの音色と過ごせて、とても幸せです。



親子で悪戦苦闘していますが、歯科医師 長谷川真理



社会保険料を学びました

尾張健友サービス

事務 大塚帆乃香

先日、社会保険料の学習会をしました。今まで無意識に給料から引かれていたお金の使い道などを改めて学ぶことができて勉強になりました。

百歳迎える利用者様へ

中川診療所

介護福祉士 渡辺 蘭

職場に100歳を迎える

敵基地攻撃を可能とする「安保3文書」と43兆円の軍事費

岸田内閣は昨年12月に「安保3文書」(①国家安全保障戦略、②国家防衛戦略、③防衛力整備計画)を決定し、先の国会では5年間で43兆円の軍事費を確保することを決めています。

安保3文書の①国会完全保障計画は、中国の軍事的台頭を踏まえて改定。敵基地攻撃能力(反撃能力)の行使に踏み込み、

②国家防衛戦略では、相手の射程圏外から攻撃できる「スタンド・オフ防衛能力」を強化するとともに、迎撃だけでなく米軍と協力して反撃もでき

利用者様がいらつしやりお祝いの為に準備中。これからも元気にデイケアに通って頂きたいです。

患者さんの立場で

千秋病院

事務 久保 明日香

医局で先生たちと保険証の話になりマイナンバーと紐付けするのは患者さんにとって負担だと一致団結し、そのまま署名を記入しました。治療だけでなく、患者さんの立場で保険証のことまで考えてくれていい医師だなと改めて思いました。

やつと朝夜涼しく

北病院

管理栄養士 柴田佳代子

今年も残暑厳しいです。9月の終わりになり、やつと朝と夜は涼しくなってきましたが、昼間の日差しが強さはまだまだ暑さを感じます。もみじ狩り、楽しみですがいつになることやら。

彼岸花が見頃です

名南ふれあい病院

事務 水谷 侑希子

いま、通勤路の桜並木の根本に咲いている彼岸花の群生がちょうど見頃です。次は金木犀が香るのを心待ちにしています。

試してみたいです

北メンタルクリニック

看護師 田川 美樹

無水カレー初めて聞きました。試してみたいと思います。

健康診断大事!

老健かたらいの里

看護師 犬飼 広子

若い頃は 特に気にしてなかったけど、年齢と共に色々気になる値になり日々の生活習慣大事だなと実感しています!

やり残したことないか?

老健あんき

看護師 小川 美由紀

あつという間に10月になり、1年は早いなあと思います。やり残したことがないか1月に書いたチェックリストを見て振り返ろうと思います!

防災グッズ点検したら

協立総合病院

看護師 石塚 由香理

防災グッズの点検をしました。非常食のアルファ米、カンパンの期限が切れていました。賞味期限だから、大丈夫?とせせせと食べています。アルファ米、水で作っても美味しかったです。

スポーツの秋

有料老人ホーム虹の郷

看護師 森 史香

学区のスポーツ祭に参加しました。障害物リレーに出場!最後まで走りきれて良かったです。

食欲の秋がやってきました

みなと協立総合病院

看護師 河口 恵子

体重維持との戦いの季節ですが美味しいものは我慢しないで食べたいなあと思う季節です。

頭の体操

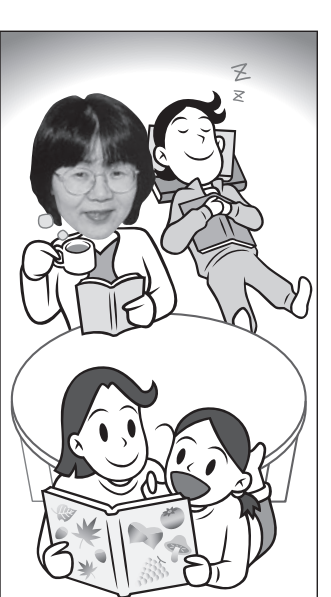
かなめ病院

看護師 藤山 美由紀

久しぶりにクロスワードを解きました。頭の体操になりました!

理事会報告

☆全日本民医連は政府に対して、「新型コロナウイルス感染症5類移行後の医療提供体制の確保と公的支援の継続と受療権の保障を求める要望書」を提出しました。移行後も感染拡大は続いており、高齢者施設でのいわゆる「留め置き」も発生し、10月1日からは公的補助が大幅に削減され、物価高騰も相まって、医療・介護の経営環境は深刻な事態となっています。



☆保険証をなくすなどの署名を推進し、秋の社会保障をよくする様々な取り組みについて各法人に協力を要請を行いました。「愛知自治体キャラバン」は、県内すべての自治体を訪問し、医療・介護・福祉などの社会保障の拡充と、国や県に対して意見書の提出を求めて要請する行動です。今年10月17、20日に行われます。愛知県との懇談は11月7日、名古屋市の懇談は11月9日です。そして「介護・認知症なんでも電話相談」(11月11日)と続きます。

クロスワードパズル

クロスを解いてA~Gに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

1	2	3	4	5	6
7	C	8	9		G
10			E		
		D			11
	12			B	13
14			15	F	17
16	A				

(出題 北メンタルクリニック 事務 幅しのぶ)

【たてのカギ】
1 青竹踏みでマッサージ
2 月ばかりは○○○生き
3 「松茸」なんと読む?
4 麺を茹でた後のコレが重要?
5 ○○ねこ、○○うし、○○ほたる
6 仕事着。夏はファン付
7 きが人気
8 野菜などを香辛料とともに酢漬にします
9 東北の背骨と言え、○○○山脈
10 剣道で使われる用語で

【よこのカギ】
1 ネット、メッシュ
2 ヒガンバナ科の多年草
3 宮崎県の県花
4 詳しく調べて、価値・優劣・適否などを決めること
5 満月が綺麗なねえ、程度や段階が急激に上がっていくこと
6 胸部と腹部を分けている筋肉
7 意味が無いこと、○○○にかすがい

【応募要項】
あて先は、〒456-0006 名古屋熱田区沢下町9-3 愛知民医連宛
①こたえ、②事業所名、③職種、④氏名、⑤近況や紙

QRコードをスマホなどで読みと応募フォームから投稿できます。
<https://goo.gl/k5hZMy>

理事報告(続き) ☆全日本民医連は政府に対して、「新型コロナウイルス感染症5類移行後の医療提供体制の確保と公的支援の継続と受療権の保障を求める要望書」を提出しました。移行後も感染拡大は続いており、高齢者施設でのいわゆる「留め置き」も発生し、10月1日からは公的補助が大幅に削減され、物価高騰も相まって、医療・介護の経営環境は深刻な事態となっています。